

イチゴ「いばらキッス」の夜冷育苗処理温度と収穫パターン			
[要約] イチゴ「いばらキッス」において、夜冷育苗処理温度 12℃では 11 月上旬から収穫を開始できるが、1 月の収量が低下しやすい。処理温度 15℃と 18℃では 11 月中旬からの収穫開始となるが、1 月の収量低下は少なく連続収穫が可能である。			
農業総合センター園芸研究所	平成28年度	成果 区分	技術情報

1. 背景・ねらい

「いばらキッス」は収穫開始時期が「とちおとめ」より遅く、ポット育苗による収穫開始時期は 12 月上旬である。そこで、「いばらキッス」において 11 月上旬から収穫を開始するための育苗条件を明らかにするとともに、育苗期の夜冷育苗処理温度と花成・開花・収穫時期との関係を解析する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 花芽発育程度について、夜冷育苗処理温度が低いほど花芽の発育が早い（表 1）。
- 2) 頂花房の開花始期について、夜冷育苗処理温度 12℃では開花始期、収穫始期ともに最も早く、処理温度 15℃と 18℃における差はみられない。（表 2）。
- 3) 頂花房と第 1 次腋花房間の葉数について、夜冷育苗処理温度が低いほど多く、それに伴い第 1 次腋花房の開花始期は遅くなる。「いばらキッス」は「とちおとめ」より、頂花房と第 1 次腋花房間の葉数は多くなりやすい（表 2）。
- 4) 年内収量について、夜冷育苗処理温度 12℃が最も多く、処理温度 15℃と 18℃では差がみられない。処理温度 12℃において 1 月の収量が低下するため、夜冷処理温度が総収量に与える影響はみられない（表 3）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 頂花房と第 1 次腋花房の花房間葉数は、定植苗の頂花房の花芽発育ステージが早い、定植後の栽培環境では、温度が高い、元肥が多い、土壌水分が多い等の条件で増加しやすい。そのため、定植時期、温度や肥培管理に注意する。
- 2) 「いばらキッス」栽培マニュアルに記載する。

4. 具体的データ

表1 品種・処理温度と花芽発育程度

品種	処理温度 (°C)	花芽発育程度 ¹⁾			定植苗の生育クラウン径 (mm)	定植日 (月/日)
		18日 ²⁾	25日	32日		
いばらキッス	12	△△△	△△○◎●	-	11.0	8/27, 28
	15	××△	×○○○◎	△△○○●◆	10.7	9/4, 5
	18	×××	×○○○○	××△○○◆	10.3	9/4, 5
とちおとめ	12	△△○	○○○◎	-	10.3	8/27, 28
	15	△△△	○◎◎●	-	10.5	8/27, 28
	18	×△○	○○○○	-	10.5	8/27, 28

注1) 未分化× 肥厚期△ 分化期○ がく片形成期◎ 雄ずい形成期● 雌ずい形成期◆

注2) 夜冷育苗処理開始後の日数

注3) 試験年度：平成26年、育苗期肥料：マイクロロングトータル70を使用 (N150mg/株)
夜冷育苗処理方法：人工気象室を使用し、暗期16時～8時、処理期間8/4～定植前日まで

表2 品種・処理温度と頂花房および第1次腋花房の開花始期

品種	処理温度 (°C)	頂花房		第1次腋花房開花始期 (月/日)	頂花房と第1次腋花房間葉数 (枚)
		開花始期 ¹⁾ (月/日)	収穫始期 ²⁾ (月/日)		
いばらキッス	12	10/7	11/6	12/14	6.7 ± 0.2 ³⁾
	15	10/13	11/9	12/8	5.4 ± 0.4
	18	10/12	11/9	11/27	5.1 ± 0.5
とちおとめ	12	10/2	10/30	11/25	5.6 ± 0.2
	15	10/4	11/2	11/22	5.1 ± 0.1
	18	10/5	11/7	11/19	5.1 ± 0.2

注1) 試験区の株のうち3割の株が開花した日

注2) 試験区の株のうち3割の株の収穫を開始した日

注3) 平均±標準誤差 (n=3)

注4) 試験年度：平成26年、育苗期の耕種概要は表1の注3)同様

株間25cm、マルチ被覆12°C:10/4 15°C、18°C:10/8、暖房8°C設定

元肥 N 12kg、P₂O₅ 12kg、K₂O 12kg/10a、追肥 11/15～4/9、N 6.9kg、P₂O₅ 9.3kg、K₂O 7.1kg/10a

表3 品種・処理温度と収量

品種	処理温度 (°C)	収量 (g/株)								計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	年内10-12月	
いばらキッス	12	5	95	99	55	159	257	136	199 (25) ¹⁾	806
	15	0	41	120	92	145	201	150	161 (21)	749
	18	0	56	102	110	138	197	147	159 (21)	751
とちおとめ	12	18	100	45	107	112	120	89	163 (28)	591
	15	6	86	59	108	99	117	118	151 (25)	594
	18	1	84	52	111	96	131	123	137 (23)	597

注1) () は年内収量の割合を示す

注2) 耕種概要は表1の注3) および表2の注4)同様

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

イチゴ「いばらキッス」の生産技術の向上・平成26～29年度・野菜研究室